



久串だより 4

いわき市立久之浜中学校通信 第4号 平成30年7月17日発行

県中体連陸上大会・市吹奏楽コンクール 頑張りました

7月4日(水)より、いわき陸上競技場にて、県中体連陸上大会が開催されました。本校からも3名の生徒が、共通女子走幅跳び・1年男子100m・共通男子棒高跳びに出場しました。本校の代表としてだけでなくいわき市の代表として、それぞれに自己記録更新と決勝進出を目指して全力で競技しました。惜しくも決勝進出は果たせませんでした、大変立派な戦いぶりでした。

また、7月16日(月)には、いわきアリオスで、吹奏楽コンクールいわき支部大会が開かれました。本校吹奏楽部は、小編成の部に出場し、「銀賞」を受賞しました。残念ながら上位大会への出場は果たせませんでした、少人数ながら精一杯演奏する生徒たちの姿を、大変誇らしく感じました。保護者の皆様には、送迎を含め応援に支えていただきました。ありがとうございました。



親子奉仕作業 お世話になりました

6月30日(土)に、今年度第1回目の奉仕作業が実施されました。今年度は、親子での参加も募集し、教職員と合わせて、約80名の参加でした。南北校舎の屋上や校庭の周辺等、普段手の届かないところの除草作業を中心に行なっていただきました。終了時間を越えて、作業を続けていただいた保護者の方もいらっしゃいました。暑い中、本当にありがとうございました。

10月には、第2回目が予定されていますので、よろしくお願いたします。また、7月28日(土)四倉夏祭り、8月11日(土)久之浜・大久地区夏祭りの補導もお世話になります。



「多くの方々から学んでいます」

先日行なわれた、特別非常勤講師吉岡先生の1年生理科の授業に続き、2年生の思春期講座では、薬剤師の先生を、3年生の福祉に関する市役所出前講座では、市職員や手話通訳士を、全校生で受講した薬物乱用防止教室では、地区指導員の方々等、専門的講師をお招きして、生徒の興味・関心を高める授業が行なわれました。多くの方々から、様々な刺激をいただきながら、生徒の「生きる力」を育てています。



どんな夏休みにしますか・・・?

もうすぐ、夏休みです。37日間の長い休みを、みなさんはどのように過ごすのでしょうか？3年生は、「夏を制するものは・・・」の心構えでしょうか。1・2年生は、「新人戦に向けて・・・」「宿題を早く片付けて・・・」でしょうか。夏休みを「充実したもの」にするのも、「だらけきったもの」にするのも、みなさん自身の気持ち（心構え）次第です。時間は、誰にでも平等に与えられています。それをどう使うかで、その人のものの見方や考え方の差となっていきます。休み明け、元気に再会できることを期待しています。なお、8月13日（月）～16日（木）は、学校閉庁日になりますので、注意してください。詳細は、終業式に連絡します。

【夏休みの横田先生との約束】

- 1 健康に生活する。早寝・早起き・朝ごはん。
- 2 事件・事故に遭わない、起こさない。
- 3 夏休み明け、元気に登校する。（〇〇が終わらないから、・・・。）

【夏休みだからこそその4つのチャンス】

【不得意教科克服のチャンス】長い夏休みの期間中に「この教科は苦手だなあ」と感じている教科を徹底的に克服するチャンスです。1学期の復習や定期テストの見直し、さらに前の学年の復習をすることが大切です。

【自己改造のチャンス】心と体を徹底的に見つめ、鍛え直す。流れていた自分、流されていた自分にサヨナラするチャンスです。夏休みは遊ぶためだけにあるものではありません。まず、「宿題」「部活動」「受験勉強」等、暑い中、どれだけ妥協せずに集中して取り組めるか。自分の弱さとじっくり向き合ってください。

【いきいき体験チャンス】「勉強、部活だけじゃ」と思っている人、家族旅行、地域行事への参加、読書、自由研究、音楽・映画鑑賞など思う存分できる時間があります。やるべきことをしっかりやって、楽しんでください。

【自分で時間を使えるチャンス】「ノー・チャイム」の日が続きます。心のチャイムを自分で鳴らすことになります。自分の立てた学習計画を成し遂げるには、何にも負けない強い意志が必要になります。ベストコンディションで2学期からの学校生活がスタートできるような夏休みを過ごせたなら、自律心と忍耐力が向上するはずですよ。



【校訓】

協力・勤勉・飛躍

【教育目標】

進んで学習に励み、学力の向上を目指す生徒
心身ともに健康で、たくましい生徒
礼儀正しく、心豊かな生徒

福島県いわき市立久之浜中学校

〒979-0333

福島県いわき市久之浜町久之浜字大場72番地の1

TEL0246-82-3021 FAX0246-82-3026

E-mail : hisanohama-jh@city.iwaki.fukushima.jp

文責 校長 横田 勝秋

